

高等学校第1学年 芸術（美術Ⅰ）



**作品を鑑賞し感じ取ったり考えたりしたことを、端末から教師に送り、
お互いの意見を確認しながら、自分の考えを更に深める。**

高等学校第1学年 芸術（美術Ⅰ）「秘密の植物誌」

■ 題材の目標

形や色彩などの性質やそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に全体のイメージなどで捉えることを理解する。自然や植物などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、形態や色彩、構成などについて考え創造的な構想を練り、意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し創造的に表す。作者の意図や創造的な表現の工夫などについて考え見方や感じ方を深める。また、感性を高め、美術を愛好する心情を育み、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

■ 題材の概要

植物を描いた作品や図鑑などから造形的なよさや美しさを感じ取り、想像などから主題を生成し、自分の考えた新種の植物を考え立体に表す。また、その特徴に合った場所に生えている状態を撮影し、秘密の植物誌を作成する。

■ 題材の指導計画（12時間）

第1次

- ・ 不思議な植物の図鑑を鑑賞し、植物のもつよさや美しさを感じ取り、不思議な特徴や創造的な表現の工夫などについて考える。

第2次

- ・ 新種の植物とその特徴について、アイデアスケッチや言葉などにより考えを整理する。
- ・ アイデアスケッチを相互に鑑賞する。
- ・ 話し合った内容から、再度構想を練る。

第3次

- ・ 発想や構想をしたことを基に、材料や用具の特性を生かして作成する。

第4次

- ・ 作成した植物を撮影し、植物誌を作成する。

■ 題材の内容の概要（指導上の留意点）

不思議な植物図鑑の作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさを感じ取り、意図と創造的な表現の工夫などに着目させるために、お互いの様々な意見からより深く考えるようにする。

新種の植物の特徴などを考え、想像しながら主題を生成し、その植物の形態や色彩、特徴などについてより考えられることができるよう、生物の教師をゲストに迎える。

発想や構想をしたことを基に、紙粘土や他の材料、用具の特性を生かすため、材料やお試しコーナーを準備し、意図に応じて工夫して作成できるようにする。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第1次）

【学習活動の場面】

不思議な植物誌の作品を鑑賞し、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めるために、生徒が作品をじっくり鑑賞できる時間をとり、それを発表し合うことで、様々な考えに触れ、そこから更に個人で考える時間を設定している。そこで教師は、生徒から発表された意見をプロジェクターで教室の前面に提示し「**形や色彩に着目して、意図や表現の工夫についてより考えて、もう一度鑑賞してみよう。**」と投げかけた。

【子供の「深い学び」の姿】

○鑑賞から感じたことや考えたことを発表した。

- A「この作品の花は色のグラデーションが美しいね。」
- B「花の色は、昆虫を呼び寄せて種を拡散させるためかな。」
- C「茎や葉脈の形や表面の毛などといった質感がそれぞれあるね。」

○生徒から出てきた意見を教師がまとめ、様々な視点や考えたことなどを確認をする。

○出てきた意見を見て、作品を鑑賞し更に考えを深める。

- A「植物の種類、周囲の生息環境の違いなども考えられるよ。」
- B「確かに、置かれた場所や季節、種類からも色が違うね。」
- C「地中の根や地上の部分の形も植物によって特徴があるね。」



【当該指導での「深い学び」】

Aは**作品を鑑賞し造形的なよさや美しさを感じ取ったことを、端末を活用して発表した。次に、クラウドにまとめられたクラス全員の意見を見て、色彩だけでなく形や細部の質感など様々な視点や考えがあることや植物の様々な特徴の違いに気付いた。それらを生かして再度作品を鑑賞し、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めていった。**その際、教師は、造形的な視点で捉え、形や色彩などの感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に全体のイメージなどで捉えることを意識できるようにしていた。鑑賞したことが、この後の発想や構想に生きていた。

【活用したソフトや機能】 Googleスライド、ドキュメント

■指導上の工夫とICTの利活用

①作品を鑑賞する。

* 作品から感じ取ったり考えたりしたことを端末に記入し、クラウドに上げて共有する。これらについて、教師が、様々な視点や考えなどについてまとめ紹介する。

②クラウドにまとめられたそれぞれの意見を見て、更に作品を鑑賞し考えを深める。

* 友達の意見と、造形的な視点などを意識しながら作品を鑑賞し直し、更に感じ取ったり考えたりしたことを端末に記述し、見方や感じ方を深める。

③作成した作品が植生している場所を決め、光や影、アングルなど工夫し撮影する。

* 作成した新種の植物の立体作品が、より本物に見えるよう、その植物が生育している場所とその状態を表すため工夫して撮影し、鑑賞したことを生かして、植物の説明を記入し端末を使用して植物誌を作成する。

学習指導要領や解説との関連

高等学校学習指導要領 第2章第7節芸術 第4美術 I

2内容

B鑑賞

(1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞

(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫 などについて考え、見方や感じ方を深めること。

イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞

(ア) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術の関わり，生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。